

三沢諏訪神社獅子舞団



< 民俗芸能を通じた地域と学校の連携 >

団体・学校の特徴	学校と連携し、地域の民俗芸能である「三沢の獅子舞」の継承に取り組んでいる。				
所在地（市町村名）	皆野町	会員数又は児童生徒数	34名	活動期間	3年7ヶ月
活動内容	<ul style="list-style-type: none">三沢小学校の「総合的な学習の時間」を通して、獅子舞を継承し、11月の例大祭でお披露目する。江戸・明治時代から伝わる獅子頭の補修や塗替えを行い、地域内の文化財を後世へ伝える。				

特徴的な活動

「三沢の獅子舞」は江戸時代初期から伝えられる民俗芸能で、町指定無形民俗文化財に指定されている。伝統を継承する「三沢諏訪神社獅子舞団」は、町の人口減少や高齢化による後継者不足の問題を抱えていた。

平成30年、この問題の解決をはかるとともに、児童が地域の文化財に触れる機会をつくりだすことを目的として、三沢小学校の「総合学習の時間」に獅子舞の練習を組み入れた。児童は獅子舞団の指導を受けて練習を重ね、11月の例大祭でその成果を地域の人々に披露する。

小学校と民俗芸能団体が連携することで、獅子舞という民俗芸能と、地域のシンボルである祭りの存続が図られる。子供たちは、自分が生まれ育った場所に伝わる本物の文化財を通し、自分のふるさとの歴史や文化を知り、誇りを持って生きていく。

